

「四日市港戦略計画 2027～2030(仮称)」(中間案)の概要について

1 四日市港戦略計画の位置づけ

「四日市港戦略計画 2027～2030(仮称)」(以下「次期計画」という。)は、四日市港長期構想(令和6年3月策定。概ね30年後を想定。)及び四日市港港湾計画(令和8年3月改訂。令和10年代後半が目標年次。)で示した方向性を実現していくための実施計画と位置づけます。

2 計画期間

4年間(2027年度～2030年度)とします。

3 次期計画における政策体系等

(1) 政策体系等

新たな長期構想で示した将来像の実現を主たる目的と捉え、長期構想の基本理念「地域に貢献する、なくてはならない存在としての四日市港づくり」を『政策』、基本理念に基づく4つの将来像を『施策』、将来像の実現に向けた取組を『事業』と位置付け、政策体系の構成を「1政策－4施策－9事業」の3層で構成しています。

また、次期戦略計画の取組を円滑に実施し、政策のめざす姿を実現するため、政策体系のベース(基盤)として、現計画に引き続き「行政運営」を掲載しています。

(2) KPIの設定

各施策には、目標とする状況を「4年間でめざす姿」として記載し、その達成に向けた進捗状況を評価する指標として、現計画に引き続きKPI(重要業績評価指標)を設定しています。長期構想の将来像を実現するため、より実効性のある指標となるよう整理しています。

(3) 政策体系図

